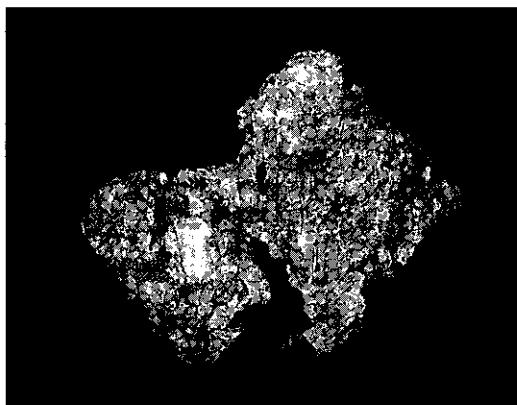


絵 は が き

地質標本館では、来館者への記念品として絵葉書セットを販売してきている。産総研への移行を機会に館では絵柄の一新を検討していたが、このほど内容がまとまり近く新版の販売を開始する予定である。どんな中身になるのか、この欄を使って順次紹介していきたい。

トップバッターは“モンスター”とも称せられる金鉱石標本である。宮城県気仙沼市(現在)の鹿折鉱山から1904年(明治37)に産出した。地質標本館の完成を記念して、徳永重元氏(元燃料部長)から寄贈されたもので、館の目玉標本の一つとなっている。



編集後記

◆ 雪の季節です。すでに北海道から日本海沿いの地域は雪に覆われています。関東地方の平地はチラホラ程度ですが、この季節になると中谷宇吉郎博士の「雪は空からの手紙である」が思い出されます。この有名な言葉は「これから寒くなりますよ」などという便りでは勿論なく、降る雪の結晶の大きさや形などに込められた上空の気象状態を読み取るための手紙なのです。また、これを踏まえた「ダイヤモンドは地中からの手紙である」は、砂川一郎さんが好んで用いられる言葉でもあります。

◆ 今月号の巻頭には、坂野昇平さん・榎並正樹さんによる「超高压変成岩」をいただくことができました。副題に「地球深部との往復書簡」とありますように、坂野さん達もまた変成岩と変成作用を通して地

下深部との遣り取りを試みておられます。ご投稿の文章を筆者らはエッセイと位置づけておられますが、なかなかどうして、軽く読み飛ばせられる内容ではありません。続編が待たれます。

◆ モリブデン(Mo)は鉄鋼の機能強化(高強度・高耐熱など)のためには欠かせない金属の一つです。その「モリブデン鉱業界の現状」を石原舜三さんに解説していただきました。表紙・口絵の写真と合わせてお読みください。

◆ その他、本号は韓国のベントナイト、産総研のモニュメント、鉄平石の里など変化に富んだ内容となりました。

次号は昨年金沢市で開催された北陸地質情報展の様態を特集する予定です。(遠藤祐二)

地質ニュース編集委員会

委員長：遠藤祐二

副委員長：谷田部信郎

委員：磯部一洋・七山 太・中島 隆・
安川香澄・飯笹幸吉

連絡先：地質調査総合センター 地質標本館
〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1
Tel. 0298-61-3754
Fax. 0298-61-3569

地質ニュース	第569号	2002年	1月号
	定価¥785(本体価格¥748)	〒実費	
2002年1月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03)3265-0951(代表)		
	Fax. (03)3265-0952		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		
印刷	株式会社 エアフォルク		

©2002 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター
およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。
また、最寄りの書店でも注文できます。

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ